



住宅の品質確保の促進等に関する法律

第5条第1項に基づく

# 建設住宅性能評価書

(一戸建ての住宅(新築住宅))

株式会社NBコーポレーション 代表取締役 小林 武様

下記の住宅に関して、評価方法基準(平成13年8月14日国土交通省告示第1347号(最終改正令和4年11月7日国土交通省告示第1108号))に基づき評価を行った結果について、次の通り相違ないことを証します。

( なお、上記は評価方法基準に基づいて評価を行った結果であり、  
時間経過による変化がないことを保証するものではありません。 )

記

建築主 株式会社NBコーポレーション 代表取締役 小林 武

設計者 エム. デザインオフィス 仲田 敏正

工事監理者 エム. デザインオフィス 仲田 敏正

工事施工者 株式会社ヤマダホームズ 代表取締役 竹中 一行

住宅の名称 石神井町1丁目分譲C号棟

住宅の所在地 東京都練馬区石神井町1丁目1037番2の一部

以上

評価書交付年月日	令和6年9月13日	評価書交付番号	092-01-2024-2-1-05484
登録住宅性能評価機関名	ユードィーアイ確認検査株式会社 代表取締役 鈴木		
機関登録番号	関東地方整備局長 第 13 号		
評価員氏名	野口 茂		

申請者等の概要

【申請者】

東京都練馬区貫井4-47-49  
株式会社NBコーポレーション 代表取締役 小林 武  
TEL:03-5848-2117

【建築主】

東京都練馬区貫井4-47-49  
株式会社NBコーポレーション 代表取締役 小林 武  
TEL:03-5848-2117

【設計者】

埼玉県新座市あたご3-2-21  
エム.デザインオフィス 仲田 敏正  
TEL:048-201-2402

【工事監理者】

埼玉県新座市あたご3-2-21  
エム.デザインオフィス 仲田 敏正  
TEL:048-201-2402

【工事施工者】

群馬県高崎市栄町1-1  
株式会社ヤマダホームズ 代表取締役 竹中 一行  
TEL:027-310-2244

---

評価員氏名

岡本 善明  
堀江 良光  
岡田 海斗  
野口 茂

UDI建設評価済

(工事監理報告書、施工状況報告書及び目視又は計測等により確認したものである)

事 項	内 容	
住宅の階数	地上[ 2 階]	地下[ 0 階]
住宅の面積	建築面積[ 49.54 m <sup>2</sup> ]	延べ面積[ 89.69 m <sup>2</sup> ]
住宅の構造	[ 木造(在来工法) ]	

住宅の品質確保の促進等に関する法律施行規則第一条第八号に基づき住宅の性能に関し日本住宅性能表示基準に従って表示すべき事項ごとの住宅性能評価の実施の有無を下記の通り明示する。

実施	評価事項	実施	評価事項
<input checked="" type="checkbox"/>	1-1 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)	<input checked="" type="checkbox"/>	5-1 省エネルギー対策等級(5-1 断熱等性能等級)
<input type="checkbox"/>	1-2 耐震等級(構造躯体の損傷防止)	<input checked="" type="checkbox"/>	5-2 一次エネルギー消費量等級
<input checked="" type="checkbox"/>	1-3 その他(地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input type="checkbox"/>	6-1 ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏)
<input type="checkbox"/>	1-4 耐風等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input type="checkbox"/>	6-2 換気対策
<input type="checkbox"/>	1-5 耐積雪等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input type="checkbox"/>	6-3 室内空気中の化学物質の濃度等
<input checked="" type="checkbox"/>	1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	<input type="checkbox"/>	7-1 単純開口率
<input checked="" type="checkbox"/>	1-7 基礎の構造方法及び形式等	<input type="checkbox"/>	7-2 方位別開口比
<input type="checkbox"/>	2-1 感知警報装置設置等級(自住戸火災時)	<input type="checkbox"/>	8-1 重量床衝撃音対策
<input type="checkbox"/>	2-2 感知警報装置設置等級(他住戸等火災時)	<input type="checkbox"/>	8-2 軽量床衝撃音対策
<input type="checkbox"/>	2-3 避難安全対策(他住戸等火災時・共用廊下)	<input type="checkbox"/>	8-3 透過損失等級(界壁)
<input type="checkbox"/>	2-4 脱出対策(火災時)	<input type="checkbox"/>	8-4 透過損失等級(外壁開口部)
<input type="checkbox"/>	2-5 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部))	<input type="checkbox"/>	9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)
<input type="checkbox"/>	2-6 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部以外))	<input type="checkbox"/>	9-2 高齢者等配慮対策等級(共用部分)
<input type="checkbox"/>	2-7 耐火等級(界壁及び界床)	<input type="checkbox"/>	10-1 開口部の侵入防止対策
<input checked="" type="checkbox"/>	3-1 劣化対策等級(構造躯体等)	<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	4-1 維持管理対策等級(専用配管)	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	4-2 維持管理対策等級(共用配管)	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	4-3 更新対策(共用排水管)	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	4-4 更新対策(住戸専用部)	<input type="checkbox"/>	

—必須項目(住棟)—

項 目		結 果	
実施の有無			
1.構造の安定に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)	3	極めて稀に(数百年に一度程度)発生する地震による力(建築基準法施行令第88 条第3項に定めるもの)の1.5 倍の力に対して倒壊、崩壊等しない程度
		2	極めて稀に(数百年に一度程度)発生する地震による力(建築基準法施行令第88 条第3項に定めるもの)の1.25 倍の力に対して倒壊、崩壊等しない程度
	<input type="checkbox"/> 評価対象外(免震建築物)	①	極めて稀に(数百年に一度程度)発生する地震による力(建築基準法施行令第88 条第3項に定めるもの)に対して倒壊、崩壊等しない程度
	<input checked="" type="checkbox"/> 1-3 その他(地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	評価対象建築物が免震建築物であるか否か <input type="checkbox"/> 免震建築物 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
<input checked="" type="checkbox"/> 1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	地盤又は杭に見込んである常時作用する荷重に対し抵抗し得る力の大きさ及び地盤に見込んである抵抗し得る力の設定の根拠となった方法 <input checked="" type="checkbox"/> 地盤の許容応力度[ 20 kN/m <sup>2</sup> ] <input type="checkbox"/> 杭の許容支持力[ kN/本 ] <input type="checkbox"/> 杭状改良地盤の許容支持力度[ kN/m <sup>2</sup> ] <input type="checkbox"/> 杭状改良地盤の許容支持力[ kN/本 ] 地盤調査方法等[ スクリューウェイト貫入試験 ] 地盤改良方法[ ]		
<input checked="" type="checkbox"/> 1-7 基礎の構造方法及び形式等	直接基礎の構造及び形式又は杭基礎の杭種、杭径及び杭長 <input checked="" type="checkbox"/> 直接基礎 構造方法[ RC ] 形式[ ベタ ] <input type="checkbox"/> 杭基礎 杭種[ ] 杭径[ cm ] 杭長[ m ]		
3.劣化の軽減に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> 3-1 劣化対策等級(構造躯体等)	3	通常想定される自然条件及び維持管理の条件の下で3世代(おおむね75~90 年)まで、大規模な改修工事を必要とするまでの期間を伸長するため必要な対策が講じられている
		2	通常想定される自然条件及び維持管理の条件の下で2世代(おおむね50~60 年)まで、大規模な改修工事を必要とするまでの期間を伸長するため必要な対策が講じられている
		①	建築基準法に定める対策が講じられている
4.維持管理・更新への配慮に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 維持管理対策等級(専用配管)	3	専用の給排水管、給湯管及びガス管の維持管理(清掃、点検及び補修)を容易にするために必要な対策の程度 掃除口及び点検口が設けられている等、維持管理を容易にすることに特に配慮した措置が講じられている
		2	配管をコンクリートに埋め込まない等、維持管理を行うための基本的な措置が講じられている
		①	その他
<input type="checkbox"/> 該当なし			



項 目		結 果
実施の有無		
5. 温熱環境・エネルギー消費量に関すること	■ 5-1 断熱等性能等級	外壁、窓等を通しての熱の損失の防止を図るための断熱化等による対策の程度
		地域の区分 [ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ ⑥ ・ 7 ・ 8 ]
		外皮平均熱貫流率 [ - W/(㎡・K) 冷房期の平均日射熱取得率 [ - ]
		7 熱損失等のより著しい削減のための対策が講じられている
		6 熱損失等の著しい削減のための対策が講じられている
		5 熱損失等のより大きな削減のための対策(建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(平成28年経済産業省令・国土交通省令第1号。以下「基準省令」という。)に定める建築物エネルギー消費性能誘導基準に相当する程度)が講じられている
		④ 熱損失等の大きな削減のための対策(基準省令に定める建築物エネルギー消費性能基準に相当する程度)が講じられている
	3 熱損失等の一定程度の削減のための対策が講じられている	
	2 熱損失の小さな削減のための対策が講じられている	
	1 その他	
	■ 5-2 一次エネルギー消費量等級	一次エネルギー消費量の削減のための対策の程度
		地域の区分 [ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ ⑥ ・ 7 ・ 8 ]
		6 一次エネルギー消費量の著しい削減のための対策が講じられている
		床面積当たりの設計一次エネルギー消費量 [ - MJ/㎡・年]
5 一次エネルギー消費量のより大きな削減のための対策(基準省令に定める建築物のエネルギー消費性能の向上の一層の促進のために誘導すべき基準(その設定の基礎となる基準一次エネルギー消費量が、基準省令第10条第1項の規定により求められたものであるものに限る。)に相当する程度)が講じられている		
④ 一次エネルギー消費量の大きな削減のための対策(基準省令に定める建築物エネルギー消費性能基準(その設定の基礎となる基準一次エネルギー消費量が、基準省令第5条第1項の規定により求められたものであるものに限る。)に相当する程度)が講じられている		
1 その他		

一選択項目(住棟)一

項 目		結 果	
実施の有無			
1. 構造の安定に関すること	□ 1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止)	地震に対する構造躯体の損傷(大規模な修復工事を要する程度の著しい損傷)の生じにくさ	
		3 稀に(数十年に一度程度)発生する地震による力(建築基準法施行令第88条第2項に定めるもの)の1.5倍の力に対して損傷を生じない程度	
		2 稀に(数十年に一度程度)発生する地震による力(建築基準法施行令第88条第2項に定めるもの)の1.25倍の力に対して損傷を生じない程度	
	□ 評価対象外 (免震建築物)	1 稀に(数十年に一度程度)発生する地震による力(建築基準法施行令第88条第2項に定めるもの)に対して損傷を生じない程度	
		□ 1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	暴風に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ及び構造躯体の損傷(大規模な修復工事を要する程度の著しい損傷)の生じにくさ
			2 極めて稀に(500年に一度程度)発生する暴風による力(建築基準法施行令第87条に定めるもの)の1.6倍)の1.2倍の力に対して倒壊、崩壊等せず、稀に(50年に一度程度)発生する暴風による力(同条に定めるもの)の1.2倍の力に対して損傷を生じない程度
	□ 1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	1 極めて稀に(500年に一度程度)発生する積雪による力(建築基準法施行令第87条に定めるもの)の1.6倍)に対して倒壊、崩壊等せず、稀に(50年に一度程度)発生する暴風による力(同条に定めるもの)に対して損傷を生じない程度	
		2 極めて稀に(500年に一度程度)発生する積雪による力(建築基準法施行令第86条に定めるもの)の1.4倍)の1.2倍の力に対して倒壊、崩壊等せず、稀に(50年に一度程度)発生する積雪による力(同条に定めるもの)の1.2倍の力に対して損傷を生じない程度	
		1 極めて稀に(500年に一度程度)発生する積雪による力(建築基準法施行令第86条に定めるもの)の1.4倍)に対して倒壊、崩壊等せず、稀に(50年に一度程度)発生する積雪による力(同条に定めるもの)に対して損傷を生じない程度	
	2. 火災時の安全に関すること	□ 2-1 感知警報装置 設置等級 (自住戸火災時)	評価対象住戸において発生した火災の早期の覚知のしやすさ
4 評価対象住戸において発生した火災のうち、すべての台所及び居室で発生した火災を早期に感知し、住戸全域にわたり警報を発するための装置が設置されている			
3 評価対象住戸において発生した火災のうち、すべての台所及び居室で発生した火災を早期に感知し、当該室付近に警報を発するための装置が設置されている			
2 評価対象住戸において発生した火災のうち、すべての台所及び寝室等で発生した火災を感知し、当該室付近に警報を発するための装置が設置されている			
1 評価対象住戸において発生した火災のうち、すべての寝室等で発生した火災を感知し、当該室付近に警報を発するための装置が設置されている			
□ 2-4 脱出対策(火災時)		通常の歩行経路が使用できない場合の緊急的な脱出のための対策	
□ 該当なし	□ 直通階段に直接通ずるバルコニー □ 隣戸に通ずるバルコニー □ 避難器具 □ その他 [ ]		
□ 2-5 耐火等級 (延焼のおそれのある部分(開口部))	延焼のおそれのある部分の開口部に係る火災による火炎を遮る時間の長さ		
	3 火炎を遮る時間が60分相当以上		
	2 火炎を遮る時間が20分相当以上		
□ 該当なし	1 その他		
□ 2-6 耐火等級 (延焼のおそれのある部分(開口部以外))	延焼のおそれのある部分の外壁等(開口部以外)に係る火災による火熱を遮る時間の長さ		
	4 火熱を遮る時間が60分相当以上		
	3 火熱を遮る時間が45分相当以上		
	2 火熱を遮る時間が20分相当以上		
□ 該当なし	1 その他		





項 目		結 果			
実施の有無					
10.防犯に関すること	<input type="checkbox"/>	10-1 開口部の侵入防止対策	通常想定される侵入行為による外部からの侵入を防止するための対策		
			評価対象開口部の区分	外部からの進入を防止するための対策	
			[ 階]	a 住戸の出入口	<input type="checkbox"/> すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし
			b 地面から開口部の下端まで高さが2m以下、又はバルコニー等から開口部の下端までの高さが2m以下であって、かつ、バルコニー等から当該開口部までの水平距離が0.9m以下であるもの(aに該当するものを除く。)	<input type="checkbox"/> すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし	
			c a及びbに掲げるもの以外のもの	<input type="checkbox"/> すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし	
			[ 階]	a 住戸の出入口	<input type="checkbox"/> すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし
			<input type="checkbox"/> 該当なし	b 地面から開口部の下端まで高さが2m以下、又はバルコニー等から開口部の下端までの高さが2m以下であって、かつ、バルコニー等から当該開口部までの水平距離が0.9m以下であるもの(aに該当するものを除く。)	<input type="checkbox"/> すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし
			c a及びbに掲げるもの以外のもの	<input type="checkbox"/> すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし	
			[ 階]	a 住戸の出入口	<input type="checkbox"/> すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし
			<input type="checkbox"/> 該当なし	b 地面から開口部の下端まで高さが2m以下、又はバルコニー等から開口部の下端までの高さが2m以下であって、かつ、バルコニー等から当該開口部までの水平距離が0.9m以下であるもの(aに該当するものを除く。)	<input type="checkbox"/> すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし
			c a及びbに掲げるもの以外のもの	<input type="checkbox"/> すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし	





項 目		結 果		
実施の有無				
10.防犯に関すること	□ 10-1 開口部の侵入防止対策	通常想定される侵入行為による外部からの侵入を防止するための対策		
		評価対象開口部の区分		
		[ 階 ] □ 該当なし	a 住戸の出入口	<input type="checkbox"/> 外部からの進入を防止するための対策の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし
			b 地面から開口部の下端まで高さが2m以下、又はバルコニー等から開口部の下端までの高さが2m以下であって、かつ、バルコニー等から当該開口部までの水平距離が0.9m以下であるもの(aに該当するものを除く。)	<input type="checkbox"/> 全ての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし
			c a及びbに掲げるもの以外のもの	<input type="checkbox"/> 全ての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし
		[ 階 ] □ 該当なし	a 住戸の出入口	<input type="checkbox"/> 全ての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし
b 地面から開口部の下端まで高さが2m以下、又はバルコニー等から開口部の下端までの高さが2m以下であって、かつ、バルコニー等から当該開口部までの水平距離が0.9m以下であるもの(aに該当するものを除く。)	<input type="checkbox"/> 全ての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし			
c a及びbに掲げるもの以外のもの	<input type="checkbox"/> 全ての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である <input type="checkbox"/> シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 該当する開口部なし			

UDI建設評価済

項 目		結 果	
実施の有無		評価対象住戸の空气中の化学物質の濃度及び測定方法	
6. 空気環境に関すること	□	6-3 室内空气中の化学物質の濃度等	評価対象住戸の空气中の化学物質の濃度及び測定方法
		特定測定物質の名称 [ホルムアルデヒド]	特定測定物質の濃度:[ ]  測定器具の名称:[ ] 採取を行った年月日 :[ ] 年 月 日 採取を行った時刻等 :[ ] 内装仕上げ工事の完了日 :[ ] 年 月 日 採取条件(居室の名称) :[ ] (室温(平均の室温)):[ ] °C (相対湿度(平均の相対湿度)):[ ] % (天候):[ ] (日照の状況):[ ] (換気の実施状況):[ ] (冷暖房の実施状況):[ ] 分析した者の氏名又は名称:[ ]
		特定測定物質の名称 [ ]	特定測定物質の濃度:[ ]  測定器具の名称:[ ] 採取を行った年月日 :[ ] 年 月 日 採取を行った時刻等 :[ ] 内装仕上げ工事の完了日 :[ ] 年 月 日 採取条件(居室の名称) :[ ] (室温(平均の室温)):[ ] °C (相対湿度(平均の相対湿度)):[ ] % (天候):[ ] (日照の状況):[ ] (換気の実施状況):[ ] (冷暖房の実施状況):[ ] 分析した者の氏名又は名称:[ ]
特定測定物質の名称 [ ]	特定測定物質の濃度:[ ]  測定器具の名称:[ ] 採取を行った年月日 :[ ] 年 月 日 採取を行った時刻等 :[ ] 内装仕上げ工事の完了日 :[ ] 年 月 日 採取条件(居室の名称) :[ ] (室温(平均の室温)):[ ] °C (相対湿度(平均の相対湿度)):[ ] % (天候):[ ] (日照の状況):[ ] (換気の実施状況):[ ] (冷暖房の実施状況):[ ] 分析した者の氏名又は名称:[ ]		

